

講義名	教養特講 (旅行計画の基礎)			授業形態	
担当教員	山川 拓也	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本科目は、良き観光者・旅行業パーソンになるための入門的な位置づけとする。序盤では、各種の旅行・観光情報の収集と活用について学び、プライベートでの「旅行を計画すること」を経験してみる。その後、ビジネス/商品としての旅行計画（旅行企画）に関して、プライベートでの旅行計画との違いから、ツアープランナーに求められる能力・素養・態度・視点・思考・技術に至るまでを広範囲に学ぶ。そのうえで、さらには具体的な事例を検証していくことにより、旅行ビジネスならびに旅行商品マーケティングに対する学生の興味・関心を引き出し、以降のより専門的な学びに繋げていくことを目指す。

到達目標

本科目の到達目標を以下に示す。
 各種の旅行・観光情報の収集方法について理解し、情報を活用できるようになる。
 ビジネス/商品としての旅行計画に関し、プライベートとの違いや必要な考え方を理解できるようになる。

提出課題

毎回の受講後に提出を求める「リアクション・ペーパー」(Campus-Xsで実施予定、)
 実習ワークの成果物3回(詳細については授業中に説明する)
 ビジネス/商品としての旅行計画に関する期末レポート(詳細については授業中に説明する)

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

各回の提出課題等で解説する必要を認めたものは、授業内外での個別フィードバックを適宜おこなう。

評価の基準

下記による総合評価とする。
 毎回の授業後に提出を求める「リアクション・ペーパー」への取り組みと提出状況：15%
 旅行計画に関する実習ワークの成果物(3回)：5%+10%+20%で合計35%
 期末レポート(小論文)：50%
 *毎回の出席確認は厳格に実施する。
 * . . . の提出がない場合、得点は0(ゼロ)点となり、成績評価に影響を及ぼす。
 * 遅刻の欠席回数が5回以上になった場合、評価を受ける資格がなくなる。(欠格/E)
 * 遅刻・早退(時間の長短を問わない)は、1回につき0.5回の欠席として算入する。
 * スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。
 * リアクション・ペーパーの記述内容が優れる場合、一定基準のもとで加点する。
 * . . . の期末レポートに対する評価指標の基本は、本シラバスに添付の「コンrollerブリック」に基づく。

履修にあたっての注意・助言他

学科専門展開科目「観光地理学」(後期配当)を同時に履修しておく、本科目の理解を深めることができる。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.旅行企画のつくりかた 新しいツアープランと顧客の創造.	小林天心	虹有社	1540	9784770900548
.JALバック「いい旅、あたらしい旅。」の創造者たち.	株式会社ジャルバック	ダイヤモンド社	1650	9784478083475

その他

プリント資料：講義レジュメや資料類を必要に応じて配布する。

授業計画

ガイダンス(科目ならびに授業の概要説明)
 《PC》個人で旅行計画を立てるためのツールとその活用、プライベート旅行の計画実習
 《PC》プライベート旅行の計画実習
 ビジネス/商品としての旅行企画とプライベートでの旅行計画の違い
 ビジネス/商品としての旅行企画をおこなう「ツアープランナーに求められる能力・素養」
 ビジネス/商品としての旅行企画の「重要な視点」、「情報収集と現地調査」
 ビジネス/商品としての旅行企画を行う「ツアープランナーに必要な技術的条件」
 《PC》旅行宣伝ポスターの作成実習
 (事例検証)JALバックにみる「パッケージツアーとパンフレットの歴史」
 (事例検証)JALバックにみる「観光地の開発」
 (事例検証)JALバックにみる「思い出の演出」
 《PC》これまでの学習事項を踏まえた「模擬ツアープランニング実習」
 《PC》これまでの学習事項を踏まえた「模擬ツアープランニング実習」
 《PC》これまでの学習事項を踏まえた「模擬ツアープランニング実習」
 科目のまとめと総括

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

(予習：60分/回)本科目の学習内容に関するメディア記事や文献等の情報を収集し、授業に向けた予習に努める。
 (復習：60分/回)授業の内容(特にキーとなるポイント)を整理し、他の周辺事例と照らし合わせるなど理解に努めるとともに、要提出課題があれば対応する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学科では、卒業認定・学位授与の方針として、観光学科の学生が卒業時に共通して身に付けておくべき能力(観光事業の仕組みや経営構造を把握・理解する思考力、顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力、課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力)を示し、その達成によって観光業界で就業できるようにすることを目標としている。また本学科では、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソンの育成」を掲げており、それに沿う形で卒業認定・学位授与の方針が定められている。本科目は、良き旅行業パーソン・観光者になるための入門的な位置づけとして、旅行ビジネスならびに旅行商品マーケティングに対する学生の興味・関心を引き出すことに配慮して授業計画が組まれており、内容として本学ならびに学科が定める卒業認定・学位授与の方針と関連している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

.授業において教員は助言や意見交換等を実施し、双方向性の確保に努める。
 .毎授業後に実施する「リアクション・ペーパー」課題への取り組みにおいて、LMS(Campus-Xs)を活用する。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
 旅行業および旅行サービス手配業の実務経験(欧州を中心とする海外団体旅行の企画作成、営業、添乗、海外駐在、市場戦略策定)ならびに「総合旅行業務取扱管理者」(国家資格)の知識・知見を活用し、本科目の目標に学生が到達できるように努める。

備考

科目の進捗状況等によって授業の内容や順番を変更する場合があります。その際には事前に告知する。